

障害の理解

問題 87 片麻痺かたまひのある人のICF(International Classification of Functioning, Disability and Health:国際生活機能分類)における「活動制限」として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 復職できない。
- 2 手足が動かない。
- 3 言葉が理解できない。
- 4 旅行に行けない。
- 5 トイレに行けない。

問題 88 2002年(平成14年)の「障害者基本計画」の基本理念で、ノーマライゼーション(normalization)とともに位置づけられているものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 インクルージョン(inclusion)
- 2 メインストリーミング(mainstreaming)
- 3 リハビリテーション
- 4 インテグレーション(integration)
- 5 バリアフリー

問題 89 片麻痺のある人が自走用標準型車いすを自分で操作しやすくする方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 背もたれの高さを肩の高さと同じにする。
- 2 健側のブレーキレバーを延長する。
- 3 ^{ひじあ}肘当ての高さを介助用グリップの高さと同じにする。
- 4 ^{ひじあ}肘当てをデスクタイプにする。
- 5 健側足底部が床に着くように、座面の高さを設定する。

問題 90 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の1つである遂行機能障害として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 物の置き場所や約束を忘れる。
- 2 集中力がない。
- 3 ちょっとしたことすぐ興奮して怒鳴る。
- 4 決まった方法にこだわり、状況に応じた判断ができない。
- 5 同時に2つ以上のことを行うと混乱する。

問題 91 Dさん(42歳、女性)は、専業主婦で小学生の2人の子どもがいる。うつ病(depression)のため、不眠と注意力の低下から家事や育児ができなくなり、精神科病院に通院している。通院以外は自宅に閉じこもり、横になっていることが多い。訪問した介護職に「子どもの世話ができない自分は母親失格」、「何もできない無能な人間になってしまった」と繰り返し話す。

Dさんへの対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「ご家族のためにも、早く元気になりますね」
- 2 「気分転換に、旅行に行ったらどうですか」
- 3 「子どもさんの世話ができないのは、つらいですね」
- 4 「毎日、洗濯や掃除を頑張りましょう」
- 5 「いつも同じことを言っていても、病気はよくなりませんよ」

問題 92 ダウン症候群(Down's syndrome)の原因として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 胎内感染
- 2 染色体異常
- 3 劣性遺伝
- 4 先天性代謝異常(inborn errors of metabolism)
- 5 核黄疸(kernicterus)

こうはんせいはったつしょうがい
問題 93 広汎性発達障害(pervasive developmental disorder)に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 幻覚、妄想が現れる。
- 2 変化に対する不安が強い。
- 3 その場の雰囲気や相手の意図を強く意識する。
- 4 麻痺性構音障害が現れる。
まひせいこうおんしょうがい
- 5 協調して作業することが得意である。

問題 94 障害受容の過程にみられる「抑圧」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 認めたくない欲求、不安や苦痛を意識下にとどめる。
- 2 障害を認めず、元に戻ると信じている。
- 3 子どものように甘えたり、すぐに泣いたりする。.
- 4 自分の立場を正当化し、失敗感や劣等感から逃れようとする。
- 5 周囲の手助けを拒否して、自分を強くみせようとする。

問題 95 相談支援専門員の業務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害に関する調査・診断・判定を行う。
- 2 就労に必要な知識や能力を高めるための訓練を行う。
- 3 サービス等利用計画を作成する。
- 4 個別支援計画を作成する。
- 5 外出時の移動中の介護を行う。

問題 96 Eさん(36歳、男性)は、^{のうせいまひ}脳性麻痺(cerebral palsy)がある。母親(60歳)と
二人暮らしである。Eさんは、^{しじまひ}四肢麻痺のため体位変換に介護が必要で、居宅介護
を利用している。最近、母親は腰痛を訴えている。

母親に対する介護職の支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「介護は負担ではない」と母親が言ったので、見守る。
- 2 腰痛で悩んでいる母親に、コルセットを提供する。
- 3 母親の介護方法を尊重しながら、腰の負担が軽くなる方法を提案する。
- 4 Eさんの生活を、ベッドから畳に見えるように指導する。
- 5 母親の負担を減らすため、Eさんと母親の2人分の食事を作る。